

銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの施工指針

目 次

1章 総 則	1
1.1 適用の範囲	1
1.2 定 義	2
2章 銅スラグ細骨材コンクリートの品質	4
2.1 総 則	4
2.2 ワークビリティ	4
2.3 強 度	5
2.4 耐 久 性	5
2.5 単位容積質量	6
3章 細 骨 材	7
3.1 総 則	7
3.2 銅スラグ細骨材	7
3.2.1 一 般	7
3.2.2 粒 度	9
3.3 普通細骨材	10
3.4 銅スラグ混合細骨材	10
3.4.1 一 般	10
3.4.2 銅スラグ混合細骨材の粒度	11
3.4.3 銅スラグ混合細骨材の塩化物含有量	13
4章 配 合	14
4.1 総 則	14
4.2 銅スラグ細骨材混合率	14
4.3 水セメント比	15
4.4 単位水量	16
4.5 単位セメント量	17
4.6 スランプ	17
4.7 細骨材率	18
4.8 AE コンクリートの空気量	18
4.9 配合の表わし方	19
5章 製 造	20

5.1 細骨材の貯蔵	20
5.2 計量および練混ぜ	20
6章 レディーミクストコンクリート	21
6.1 総 則	21
7章 運搬, 打込みおよび養生	22
7.1 運 搬	22
7.2 打込みおよび締固め	22
7.3 養 生	23
8章 品質管理および検査	24
8.1 細骨材の品質管理および検査	24
8.2 銅スラグ細骨材コンクリートの品質管理および検査	25
9章 特別な考慮を要するコンクリート	26
9.1 一 般	26

付 録

- I コンクリート用スラグ骨材—第3部：銅スラグ骨材 JIS A 5011-3：1997
- II 銅スラグ細骨材に関する技術資料
- III フェロニッケルスラグ細骨材および銅スラグ細骨材混合率推定方法
- IV 銅スラグ細骨材に関する文献リスト